

施設名称	〔5〕 東京都台東区立一葉記念館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	25年度決算 歳入 594,805,759円 歳出 542,927,644円 収支差額 51,878,115円 (区返納金31,878,115円次期繰越金 20,000,000円) 監査の結果、事業報告書、決算報告書、決算付属明細書並びに財産目録は適正であった。(内部監査報告書より)					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区竜泉3-18-4					
(2)設置目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を元に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	開館日：休館日(月曜日/12月29日~1月3日/特別整理期間等)を除く 開館時間：午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)					
(5)規模	延べ床面積861.04㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階、塔屋、展示室、 収蔵庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室、 小会議室					
(6)人員体制	7名 常勤固有職員(1)派遣職員(1)再任用(1)専門員(2) 財団嘱託員(1) 特例嘱託員(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。文化ボランティアガイド事業。					
(2)自主事業	特別展・企画展、一葉祭(記念講演・朗読、ボランティアと行く「たけくらべ」ゆかりの地めぐり)、特別講座、ワークショップ、朗読サロン、文学講座、くずし字解読講座					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	24,132,000	19,684,000	19,014,000	17,896,000	16,131,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	24,132,000	19,684,000	19,014,000	17,896,000	16,131,000
決算	委託料	16,286,787	12,614,691	14,331,580	15,957,861	15,920,386
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,286,787	12,614,691	14,331,580	15,957,861	15,920,386
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
開館日数		日	300	304	301	299
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
入館者数		人	14,000	19,048	13,749	13,555

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

通常の企画展や特別展の合間に引き続きミニ企画展を行うなど、積極的な事業を展開した。また、人気のある「くずし字解読講座」の定員の増員や新たに「朗読会」を開催するなど、来館者のニーズに沿った事業の充実やサービスの向上を図った。また、つくばエクスプレス沿線駅や東京メトロ沿線駅に特別展等のポスター掲示を依頼するなど積極的なPR活動を行なった。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。  
 0：協定等の水準を下回っている。  
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [3]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [3]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [3]
	(c)利用者数の目標達成 [1]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	通常の企画展や特別展の合間のミニ企画展や、来館者が気軽に楽しめる「朗読会」を実施するなど、来館者サービスの向上への工夫がなされた。
(2)施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされている。また、西日対策としての「よしず」の設置など、経費節減とともに環境に配慮した施設の維持管理に努めている。
(3)利用者の満足度	B	入館者数こそ前年にわずかに届かなかったが、人気のある「くずし字解読講座」の定員の増員など、来館者のニーズに沿った事業の充実を図った。また、地元町会やボランティアと連携した一葉祭期間中に「たけくらべ」の直筆原稿の展示を行うなど集客努力を行っている。
(4)収入支出	A	経費節減に努め、適正に予算の執行がなされている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>要努力</b>	入館者数こそ前年度にわずかに届かなかったが、来館者のニーズに沿った事業展開を行っている。今後さらに関係団体との連携を活かした事業への取組みや来館者サービスの向上を図り、入館者数の回復を目指す必要がある。
------------	---

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

一葉真筆の資料購入による展示内容の充実、連携協定を結んだ実践女子大学文芸資料研究所との協働企画で新春特別展を予定するなど、積極的な事業展開を図っている。また、多くの来館者が見込まれる西の市の日に臨時開館・開館時間の延長も予定しており、来館者サービスの向上とともに入館者増への取組みを実施している。